平成24年度科学技術週間に伴う一般公開

独立行政法人国立環境研究所

2012年4月21日 土曜日 10:00–16:00

（受付15:00まで）

春の環境講座

国立環境研究所では、科学技術週間中の一日、日頃の研究成果を
より多くの方々に知っていただくために、主な研究施設を公開いたします。
会場では、みなさまの質問に研究者が直接お答えしますので、ぜひおいでください。
地球環境研究センターでは、講演会「ココが知りたい温暖化」と
地球温暖化に関連するパネル・測器や模型等の展示を行います。

問い合わせ先： 独立行政法人国立環境研究所 地球環境研究センター
TEL: 029-850-2384（平日9:00–17:00）

独立行政法人 国立環境研究所
地球環境研究センター
Center for Global Environmental Research

http://www.cger.nies.go.jp

地球温暖化研究棟の企画

講演会「ココが知りたい温暖化」

会場：地球温暖化研究棟／ 1F 会議室
司会：笹野 泰弘（地球環境研究センター長）

11:15–11:45
三枝 信子
地球環境研究センター
陸域モニタリング推進室長

森の呼吸の測り方

地球全体での二酸化炭素収支の実態を解明するためには、植物による二酸化炭素の吸収量を正確に測ることが必要ですが、実際の観測はどのように行われるのでしょうか。国立環境研究所が実施している森林生態系のモニタリングについて説明します。

12:15–12:45
亀山 康子
社会環境システム研究センター
持続可能社会システム研究室長

地球温暖化問題に関する国際交渉

COP17などの国際会議では、各国が熾烈な交渉を行っています。それでは日本の主張は誰がどのような手順で決めているのでしょうか。地球温暖化問題に関する国際交渉にわたしたち個人がどのように関心を持てばよいのかも含めて解説します。

13:45–14:15
田崎 智宏
資源循環・廃棄物研究センター
循環型社会システム研究室 主任研究員

省エネ製品への買い替え判断 ～LCA という考え方～

冷蔵庫などの家電機器はどんどん省エネ効率がよくなっています。環境にやさしい買い替えのタイミングはどのように判断したらいいのでしょうか。ここではライフサイクルアセスメント（LCA）という考え方をご紹介します。

パネル・測器や模型等の展示

会場：地球温暖化研究棟／ 1F 交流会議室・ギャラリー

温室効果ガスの観測、
サンゴなどの海洋生物に着目した
温暖化影響モニタリングの調査機器、
パネルによる研究成果等についてご紹介します。
また、自転車発電コーナーもあります。

宇宙や空から温室効果ガスを測る

地球温暖化という現象をとらえるためには、大気中の温室効果ガスを正確に観測しなければなりません。温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」（GOSAT）や民間航空機を利用した温室効果ガスの観測方法についてご紹介します。

サンゴが教える海の温暖化

地球温暖化の環境に対する影響を正確に把握するため、国立環境研究所では温暖化影響のモニタリングを開始しました。ここでは、サンゴなどの海洋生物に着目した温暖化影響モニタリングの調査機器を展示し、実際の調査方法についてご紹介します。

森の呼吸を測る

植物の呼吸や光合成に関する実験と、富士北麓の森林観測現場の中継を行います。また、温室効果ガス濃度を測定する観測測器をご覧いただき、測定方法や得られたデータについて説明します。

節電で減らせる！ CO_2

私たち日本人が他の国と比べてどのくらいCO_2を排出しているか、立体的に表示してみました。また、家電の買い替え時は、節電とともに家庭からのCO_2排出量を減らすチャンスです。どのくらい減らせるか、わかりやすく展示します。

地球温暖化研究プログラム紹介

地球温暖化に関する諸問題化の解決を目指して研究を行っています。特に、大気中の温室効果ガスの地球規模での動態の観測・解明、過去から将来にわたる気候変動の解明・予測、気候変動に対する地球規模の影響リスクの評価、気候変動に対する国際的な適応策・緩和策に関する研究について、ご紹介します。